

令和6年度事業報告書

1 概 要

令和6年度の当機構の業務は、新型コロナも落ち着く中で、オンライン方式の活用等の工夫により、概ね年度当初に計画していた調査研究、表彰事業、講演会開催等の事業を実施することができた。その概要は以下のとおりである。

- (1) 国、地方公共団体からの受託調査については、地方都市における再開発手法の合理化等に関する検討業務等を受託し、オンライン会議等を活用しつつ、実施した。
- (2) 国土交通省において創設された表彰制度「まちづくりアワード」の協賛団体の代表として支援を行った。
- (3) 当機構が主催する「土地活用モデル大賞」については、現地調査を実施するとともに、オンライン方式による双方向のヒアリング等により、国土交通大臣賞等の選定を行った。
- (4) 当機構が事務局業務を担っている都市地下空間活用研究会（地下研）とアーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT）については、会員メンバーと共に調査研究活動や講演会、見学会を実施した。

2 事業の実施状況

(1) 会議の開催

次のとおり理事会、評議員会を開催した。

(イ) 理事会

① 第33回理事会 令和6年6月10日（月）

於：（一社）国際建設技術協会 会議室

- 議案
- ・ 令和5年度事業報告（案）及び収支決算（案）について
 - ・ 令和5年度公益目的支出計画実施報告書（案）について
 - ・ 理事の推薦について
 - ・ 監事の推薦について
 - ・ 顧問の委嘱について
 - ・ 事務局長の任免について
 - ・ 第15回定時評議員会の招集について

- 報告事項
- ・ 職務執行状況報告について
 - ・ 財産の運用状況について
 - ・ 賛助会員の状況について

- ② 第34回理事会 令和6年6月26日（水）
 於：（一財）都市みらい推進機構 （書面決議）
 議案 ・ 理事長、専務理事、常務理事の選定について
- ③ 第35回理事会 令和7年3月27日（木）
 於：（一財）都市みらい推進機構 会議室
 議案 ・ 令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
 ・ 参与の委嘱（案）について
 報告事項 ・ 職務執行状況報告について

（ロ）評議員会

- ① 第15回定時評議員会 令和6年6月26日（水）
 於：（一社）国際建設技術協会 会議室
 議案 ・ 令和5年度事業報告（案）及び収支決算（案）について
 ・ 令和5年度公益目的支出計画実施報告書（案）について
 ・ 評議員の選任について
 ・ 理事の選任について
 ・ 監事の選任について
 報告事項 ・ 令和6年度事業計画及び収支予算について
 ・ 財産の運用状況について
 ・ 賛助会員の状況について
 ・ 顧問の委嘱について
- ② 第16回定時評議員会 令和6年6月26日（水）
 於：（一財）都市みらい推進機構 （書面決議）
 議案 ・ 評議員会会長及び会長代理の選定について

（2）まちづくり情報交流活動

（イ）「先進的なまちづくり事例のご紹介」ページの運営

先進的なまちづくり事例等の情報を全国に提供するため、当機構のホームページに公民連携、柔軟な市街地整備、エリアマネジメントなどをキーワードとして全国で展開されている先進的なまちづくり事例等を紹介するページを設けているが、昨年度までに累計270件を紹介した。

・「多様なまちづくり事例編」	21件
・「まち交大賞編」	111件
・「コンパクトなまちづくり大賞編」	12件
・「先進的まちづくり大賞編」	5件
・「まちづくりアワード編」実績部門	8件
構想・計画部門	4件
・「土地活用モデル大賞編」	109件

(ロ) 「まち交ネット」の運営管理

「都市再生整備計画事業」に関する各種情報を提供するため平成16年に開設した「まち交ネット」において、「都市再生整備計画」の検索システムに加え、全国の各都市で策定が進められている「立地適正化計画」の情報に関する検索システムを付加し、随時更新している。

(3) 調査研究

(イ) 受託調査

国、地方公共団体等から調査等6件を受託し、実施した。

①国からの受託調査 (1件)

- ・地方都市における再開発手法の合理化等に関する検討業務
(国土交通省都市局)

②地方公共団体からの受託調査 (1件)

- ・豊洲グリーン・エコアイランド構想施策支援業務 (東京都江東区)

③民間からの受託調査 (4件)

- ・囲町西地区第一種市街地再開発事業特定業務代行者選定業務
(中野囲町西地区市街地再開発準備組合)
- ・西新宿三丁目西地区第一種市街地再開発事業に係る特定業務代行候補者選定業務
(西新宿三丁目西地区市街地再開発組合)
- ・(仮称)津田沼駅南口地区第一種市街地再開発事業特定業務代行者選定業務
(野村不動産(株))
- ・鷺沼駅前地区第一種市街地再開発事業に伴う特定業務代行者選定業務(その2)
(鷺沼駅前地区市街地再開発組合)

(ロ) 自主研究

- ① 立地適正化計画及びその実現手法としての都市再生整備計画事業の推進に向け、継続して立地適正化計画策定や事業実施上の疑問点、課題等の実務的なノウハウの蓄積に努めた。
- ② 平成28年度より自主事業として取組んできた「エリアマネジメント実務勉強会」について、令和6年度はシティラボ東京において開催した。
- ③ 全国のまちづくり事例を収集・整理し、情報発信するため、継続して当機構のホームページにおける「先進的なまちづくり事例のご紹介」の充実に努めた。

(4) 表彰事業等まちづくりに関する普及啓発活動

(イ) 第21回土地活用モデル大賞の表彰

主 催：(一財)都市みらい推進機構

後 援：国土交通省

表彰式：令和6年10月30日(水)

会 場：アルカディア市ヶ谷(琴平の間)

受賞プロジェクト：

○ 国土交通大臣賞

- ・シーパスパーク(泉大津駅西地区周辺整備事業)(大阪府泉大津市)

○ 都市みらい推進機構理事長賞

- ・馬場川通りアーバンデザインプロジェクト(群馬県前橋市)
- ・麻機遊水地公園活用事業 ～自然とふれあう体験型の都市緑地～(静岡県静岡市)
- ・都城市中心市街地中核施設整備支援事業(宮崎県都城市)

○ 審査委員長賞

- ・宇都宮駅東口整備事業(栃木県宇都宮市)
- ・横浜国際港都建設事業 新綱島駅周辺地区土地区画整理事業(神奈川県横浜市)

(ロ) まちづくりアワードへの支援

国土交通省において創設された表彰制度「まちづくりアワード」の協賛団体の代表として支援を行った。

(5) 講演会・意見交換会・プロジェクト説明会等の開催

(イ) 土地月間記念講演会

開催日：令和6年10月30日(水)

主 催：(一財)都市みらい推進機構、(一財)土地総合研究所、(一財)土地情報センター、(一財)不動産適正取引推進機構、(公財)不動産流通推進センター

後 援：国土交通省、(一財)民間都市開発推進機構、(一財)日本不動産研究所、(株)日本政策投資銀行

会 場：アルカディア市ヶ谷(琴平の間)

① 状況報告

- ・「土地行政の最近の動きについて」

国土交通省不動産・建設経済局土地政策課 土地調整官 廣瀬 公亮 氏

- ・令和6年度土地活用モデル大賞全受賞プロジェクトの概要説明

〈国土交通大臣賞〉

- ・シーパスパーク(泉大津駅西地区周辺整備事業)

泉大津市都市政策部長

山野 真範 氏

<都市みらい推進機構理事長賞>

- ・馬場川通りアーバンデザインプロジェクト
一般社団法人前橋デザインコミッション代表理事 小島 秀薫 氏
- ・麻機遊水地公園活用事業 ～自然とふれあう体験型の都市緑地～
静岡市緑地政策課 主任主事 中島 裕也 氏
- ・都城市中心市街地中核施設整備支援事業
都城市商工政策課 主査 藤澤 一成 氏

<審査委員長賞>

- ・宇都宮駅東口整備事業
宇都宮市都市整備部長 高橋 裕司 氏
- ・横浜国際港都建設事業 新綱島駅周辺地区土地区画整理事業
横浜市 綱島駅東口周辺開発事務所長 木村 信一 氏

② 講演

- ・「城崎温泉『木屋町小路』」について
早稲田大学副総長 早稲田大学理工学術院教授 後藤 春彦 氏
- ・「京橋二丁目西地区第一種市街地再開発事業（京橋エドグラン）」について
株式会社日建設計都市・社会基盤部門都市開発グループ
ディレクター 黒澤 俊彦 氏

③ パネルディスカッション

コーディネーター： 岸井 隆幸 氏
((一財)計量計画研究所代表理事)

パネリスト： 廣瀬 公亮 氏、後藤 春彦 氏、黒澤 俊彦 氏
(フロアから本年度受賞プロジェクト関係者)

(ロ) 都市みらい推進機構・都市地下空間活用研究会・アーバンインフラ・テクノロジー推進会議合同講演会

① 第47回合同講演会（オンライン開催）

開催日： 令和6年6月18日(火)
会 場： TKP市ヶ谷カンファレンスセンター
演 題： 「中心の『人』を支える空間形成について」
講 師： 埼玉大学名誉教授・日本大学客員教授 久保田 尚 氏

② 第48回合同講演会（オンライン開催）

開催日： 令和7年3月21日(金)
演 題： 「2025大阪・関西万博と大阪市のまちづくり」
講 師： 大阪市計画調整局計画部長 荒木 敏 氏

(ハ) 令和6年度都市みらい推進機構調査研究報告会及び講演会

開催日： 令和6年9月30日(月)（オンライン開催）

① 報告会

- 1) 令和5年度受託調査・自主研究の概要
- 2) ACUUS 2023について
- 3) 官民連携エリマネ及びウォークアブル施策調査業務

② 講演会

1) 「担い手から考える人口減少時代の都市デザイン」

九州大学大学院人間環境学研究院都市・建築学部門 教授 黒瀬 武史 氏

2) 「まちづくりGXの推進について」

国土交通省都市局都市環境課 課長補佐

酒井 翔平 氏

(二) 令和6年度エリアマネジメント実務勉強会

エリアマネジメントの裾野拡大を目的に、平成28年度より「エリアマネジメント実務勉強会」を実施している。令和6年度は、持続可能なエリアマネジメントを支える“デザイン（ハード・ソフト）”をテーマに開催した。

開催日：令和7年3月26日(水)

会 場：シティラボ東京（一部オンライン配信）

① 講演会

1) 趣旨説明

山口大学大学院創成科学研究科建築学コース 教授

宋 俊煥 氏

2) 国土交通省からの情報提供

国土交通省都市局まちづくり推進課官民連携推進室長

兼 国際競争力強化推進官

山田 大輔 氏

3) 専門家からの情報提供

株式会社サンシャインシティ、北海道科学大学 客員教授、
（一社）エリアマネジメントラボ

堀江 佑典 氏

4) エリアマネジメント事例リレー

・前橋市アーバンデザイン

一般社団法人 前橋デザインコミッション 事務局長

日下田 伸 氏

・黄金町エリアマネジメント

横浜市立大学国際教養学部都市系 教授

鈴木 伸治 氏

・茶山台団地再生プロジェクト

大阪府住宅供給公社泉北センター団地マネジメント課 課長

笹井 純 氏

② ワークショップ

3つの先進事例を踏まえ、「新しい時代のまちづくり」についてワークショップを行った。

(6) まちづくり関連諸団体の支援

事務局として次のような団体の活動を支援した。

(イ) コンパクトなまちづくり推進協議会

① 第7回定期総会

開催日：令和6年7月19日（金）

会 場：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

② まちづくり講演会

・「人口減少時代の今後のまちづくりについて」

東京都立大学都市環境学部都市政策科学科 教授

饗庭 伸 氏

- ・「立地適正化計画制度に関する最近の話題」
国土交通省都市局都市計画課都市機能誘導調整室 交通計画係長 田中 優希 氏
- ・「都市再生整備計画関連事業に関する最近の話題」
国土交通省都市局市街地整備課企画係長 松山 拓斗 氏

③ 現地研修会(前橋市)

開催日：令和6年11月20日(水)～21日(木)

会 場：つどにわホール

1) まちづくり講演会

- ・「人間と自然・過去と未来をつなぐランドスケープのデザインとは」
株式会社ランドスケープ・プラス 代表取締役 平賀 達也 氏
- ・「MDC（前橋デザインコミッション）の役割と官民連携のまちづくり」
一般社団法人前橋デザインコミッション企画局長 日下田 伸 氏

2) 都市再生整備計画関連事業講習会

- ・「都市再生整備計画関連事業に関する最近の話題」
国土交通省都市局市街地整備課長 筒井 祐治 氏
- ・「関東地方における都市再生整備計画関連事業を活用したまちづくり」
国土交通省関東地方整備局建政部都市整備課長 関澤 貴史 氏
- ・「前橋市アーバンデザインによる官民連携まちづくりについて」
前橋市市街地整備課長 五十嵐 紳一郎 氏

3) 現地視察研修

馬場川通り、中央通り、弁天通り、広瀬川河畔緑地周辺等を巡り、様々な制度を活用した整備事例を視察した。(参加者37名)

④ 現地研修会(熊本市)

開催日：令和7年2月13日(木)～14日(金)

会 場：TKP熊本カンファレンスセンター「はなしょうぶ」

1) まちづくり講演会

- ・「半導体産業集積が進む熊本都市圏の将来像を考える」
～コンパクト&ネットワークの都市計画ビジョン～
熊本大学名誉教授 両角 光男 氏

2) 立地適正化計画講習会

- ・「都市行政に関する最近の動きについて」
国土交通省都市局都市計画課施設計画調整官 角田 陽介 氏
- ・「九州におけるコンパクトなまちづくりの取り組み」
国土交通省九州地方整備局建政部都市整備課長 石黒 敏規 氏
- ・「熊本市の都市計画について」
熊本市都市建設局都市政策部都市政策課長 飯田 孝祐 氏
- ・「熊本市のまちづくりについて」
熊本市都市建設局都市政策部市街地整備課長 三池 史子 氏

3) 現地視察研修

桜町地区市街地再開発事業（熊本城ホール・桜町バスターミナル等）、花畑広場整備事業、銀座通りの道路空間利活用等を視察した。（参加者34名）

(ロ) 都市地下空間活用研究会（地下研）

① 総会・評議員会

開催日：令和6年6月18日（火）

会 場：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

終了後、記念講演会・意見交換会を（一財）都市みらい推進機構、アーバンインフラ・テクノロジー推進会議と共同で開催した。

② 調査研究活動

1) 大阪分科会

「地下・まち一体デザイン～地下空間と近接開発との一体的な計画・整備・運営による地下空間とまちの相乗的な価値向上～」をテーマに継続して取組んだ。地下空間と近接開発の接続部分の現状を把握することを目的に、梅田エリア周辺の大規模開発の事例調査を行った。その結果、個別開発ごとの課題も浮かび上がり、指針となる地域全体の地下空間の長期的な将来像とそれを担保するしくみの必要性が明らかになった。

2) 地下利活用検討分科会

「地下歩行者空間の整備・利活用の在り方に関する研究」をテーマに、地下空間のマネジメント（計画・運営）、横断利用（地上・地下）（官・民）、使い方、防災機能、リノベーションを視点として調査を進めた。2024年12月には岸井会長、大沢分科会長、分科会コアメンバーによる台北・台中・台南・高雄の地下空間やLRT、モビリティ拠点等の視察、関係団体へのヒアリングおよび意見交換を行った。

3) 都市開発との連携分科会

「ウォーカブルな都市と地下空間の在り方」をテーマとし2か年程度の期間を見込む調査を続けた。国内のウォーカブルな都市づくりにおける地下空間活用の先進事例を幹事会参加メンバーが役割分担して、インターネット検索や訪問ヒアリングにより調査を進めた。事例を次の2つの類型、①地上をウォーカブルにするために地下を活用する、②地下そのものをウォーカブルにする、に分けそれぞれの役割・機能や工夫点を調査した。

4) 地下防災に関する情報提供

（一社）都市環境エネルギー協会が主催する中央区BCD・カーボンハーフ推進委員会、新宿新都心地区BCD・カーボンハーフ推進委員会に参加し、これまでの当研究会の調査研究をもとに地下空間の防災に関する知見を提供した。この他、（公社）土木学会地下空間研究委員会、（一財）エンジニアリング協会地下開発利用研究センターとの交流・連携を行った。

③ 国際交流活動

第19回ACUUS国際会議は2025年11月4日～7日にセルビア共和国の首都ベオグラードで「地下のモビリティと高い視点からの思考—都市地下空間の利用における新たな機会と課題—」をテーマに開催される。当該国際会議へはこれまで同様、岸井会長を団長として派遣団を結成し、論文発表、各種行事への参加を通じて、参加者の交流と知見の増進に協力する方向で検討を進めている。

④ 講演会等の開催

講演会を2回、懇話会を2回、現地視察見学会を2回開催した。

(ハ) アーバンインフラ・テクノロジー推進会議(UIT)

① 総会・評議員会

開催日：令和6年6月18日（火）

会 場：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

終了後、記念講演会・意見交換会を（一財）都市みらい推進機構、都市地下空間活用研究会と共同で開催した。

② 技術研究発表会の開催

令和6年11月29日（金）にハイブリッド方式にて「第36回技術研究発表会」を開催した（テーマ「GXで実現する持続可能で魅力的なまちづくり」）。国、地方公共団体、民間企業等から17編の論文および3編のプロジェクト・技術報告が発表された（うち4編の論文は共通セッションで発表された。）。参加者数は315名であった。また、発表会後に意見交換会を開催した。続いて、大阪にて、令和7年2月19日（水）にリアル形式にて「都市づくりについての技術研究発表と講演会」を（公財）都市活力研究所と共催にて開催した。第36回技術研究発表会で優秀賞を受賞した論文3編の発表と、国土交通省都市局街路交通施設課街路交通施設企画室長 福元正武氏による「まちづくりGX推進に向けた取組について」、大阪公立大学大学院工学研究科教授 嘉名光市氏による「ウォーカブルな都市づくり 海外都市と大阪の取り組み」と題した2演題の講演を行った。

③ 交流展示会の開催

令和6年11月29日（金）に、第31回交流展示会をオンライン上の特設サイトに掲載する形で開催した。地方公共団体、公益団体等7団体が展示を行った。

④ 都市基盤技術サイト「てくTechまちさんぽ」の管理・運営の実施

平成28年9月末から開設している「てくTechまちさんぽ」及び公式Facebookページでの情報発信を実施してきた。平成31年2月からは国土交通省及び参加各社の新しい取組に関するプレスリリース等をトップページ・最新情報に掲載してきた。

⑤ 講演会等の開催

講演会を2回、現地視察見学会を2回開催した。

別紙 令和6年度事業報告に係る附属明細書について

「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書を作成しない。